

2010年 経済 第2問

1枚目/2枚

2 スペードの1から9までのトランプが9枚ある。この9枚のトランプから無作為に、3枚同時に取り出す。取り出したトランプの数のうち最も小さな数を a 、最も大きな数を b とする。また、3つの数の積を X とする。このとき、以下の各問に答えよ。

- (1) a , b それぞれの期待値を求めよ。
- (2) X が5の倍数である確率を求めよ。
- (3) X が10の倍数である確率を求めよ。
- (4) X が6の倍数である確率を求めよ。

(1) 3枚の取り出し方は全部で ${}^9C_3 = \frac{9 \cdot 8 \cdot 7}{1 \cdot 2 \cdot 3} = 84$ 通りあり、

そのうち、 $a = 1, 2, 3, \dots, 7$ となるのはそれぞれ

$8C_2, 7C_2, 6C_2, \dots, 2C_2$ 通りであるから、 a の期待値 $E(a)$ は、

$$\begin{aligned} E(a) &= 1 \cdot \frac{8C_2}{84} + 2 \cdot \frac{7C_2}{84} + 3 \cdot \frac{6C_2}{84} + \dots + 7 \cdot \frac{2C_2}{84} \\ &= \frac{1}{84} (1 \cdot 28 + 2 \cdot 21 + 3 \cdot 15 + 4 \cdot 10 + 5 \cdot 6 + 6 \cdot 3 + 7 \cdot 1) \\ &= \frac{5}{2} \text{ 〃} \end{aligned}$$

同様に、 $b = 3, 4, 5, \dots, 9$ となるのはそれぞれ

$2C_2, 3C_2, 4C_2, \dots, 8C_2$ 通りであるから、 b の期待値 $E(b)$ は、

$$\begin{aligned} E(b) &= 3 \cdot \frac{2C_2}{84} + 4 \cdot \frac{3C_2}{84} + 5 \cdot \frac{4C_2}{84} + \dots + 9 \cdot \frac{8C_2}{84} \\ &= \frac{1}{84} (3 \cdot 1 + 4 \cdot 3 + 5 \cdot 6 + 6 \cdot 10 + 7 \cdot 15 + 8 \cdot 21 + 9 \cdot 28) \\ &= \frac{15}{2} \text{ 〃} \end{aligned}$$

(2) X が5の倍数 \Leftrightarrow 3枚のうち1枚が5のトランプ

よって、残り2枚を1~4, 6~9の中から選べばよいので

$$\frac{8C_2}{9C_3} = \frac{28}{84} = \frac{1}{3} \text{ 〃}$$

(3) X が5の倍数かつ X が10の倍数でない \Leftrightarrow 3枚のうち1枚が5のトランプで、残り2枚は奇数のトランプ

5以外の奇数のトランプは、1, 3, 7, 9の4枚であるから、

$$\frac{4C_2}{9C_3} = \frac{6}{84}$$

$$\therefore (2) \text{より}, \frac{28}{84} - \frac{6}{84} = \frac{22}{84} = \frac{11}{42} \text{ 〃}$$

2枚目ハック

2010年経済第2問

2枚目/2枚


 数理
石井K

2 スペードの1から9までのトランプが9枚ある。この9枚のトランプから無作為に、3枚同時に取り出す。取り出したトランプの数のうち最も小さな数を a 、最も大きな数を b とする。また、3つの数の積を X とする。このとき、以下の各問に答えよ。

- (1) a , b それぞれの期待値を求めよ。
 - (2) X が5の倍数である確率を求めよ。
 - (3) X が10の倍数である確率を求めよ。
 - (4) X が6の倍数である確率を求めよ。
- (4) X が2の倍数である事象を A_2 、3の倍数である事象を A_3 、6の倍数である事象を A_6 、

また、全事象を U とすると、

$$P(A_2) = P(U) - P(\bar{A}_2) \text{ より, } P(A_2) = 1 - \frac{{}^5C_3}{{}^9C_3} = 1 - \frac{10}{84} = \frac{74}{84}$$

← 奇数から3枚

$$\text{同様にして, } P(A_3) = 1 - \frac{{}^6C_3}{{}^9C_3} = 1 - \frac{20}{84} = \frac{64}{84}$$

← 3の倍数以外から3枚

$\bar{A}_2 \cap \bar{A}_3$ は2の倍数でも3の倍数でもない事象で

$$P(\bar{A}_2 \cap \bar{A}_3) = \frac{{}^3C_3}{{}^9C_3} = \frac{1}{84}$$

← 1, 5, 7の3枚

となり、

$$\begin{aligned} P(A_2 \cap A_3) &= P(\bar{A}_2 \cap \bar{A}_3) + P(A_2) + P(A_3) - P(U) \\ &= \frac{1}{84} + \frac{74}{84} + \frac{64}{84} - 1 \\ &= \frac{55}{84} \text{ //} \end{aligned}$$

